## 相互協議の手続について(事務運営指針)新旧対照表

(注) アンダーラインを付した部分は、新設又は改正部分である。

	改正後	改正前						
別紙様式 1 Form 1	相互協議申立書 Application for the Mutual Agreement Procedure	別紙様式 1 Form 1 相 互 協 議 申 立 書 Application for the Mutual Agreement Procedure						
	※ 整 理 番 号	※整理番号						
	(フリガナ) 法人名又は氏名 Name of corporation or individual	(フリガナ)       法人名又は氏名       Name of corporation or individual       法人番号又は個人番号       「個人番号の影響におたっては、影響を誘揮とし、ここから影響してください。						
	法人名又は氏名の英語表記 Name of corporation or individual in English	Corporate number or individual number   In the case of undividual number caser at from ben.)    In the case of undividual number caser at from ben.						
年 月 日 Date of submission	法人番号又は個人番号 Corporate number or individual number    MA等の記載につては、志琳を登職とし、ここから記載してください   In the case of individual number enter it from here   T	年月日 Date of submission (year/month/day)  Place of tax payment 相手国等における納税者番号 Tax ID manufer in testy partner jurisdation (year/month/day)						
(year/month/day)	納 税 地 Place of tax payment	法人の代表者氏名 Name of the corporate representative						
	相手国等における納税者番号 Tax D number in treaty partner jurisdiction  (フリガナ)	(フリガナ) (役職名 Position) 責任者氏名 西利庁長官 殿 Name of the person in charge 電話 Tel ( ) - (内線ex. )						
	法人の代表者氏名 Name of the corporate representative (投職名 Position )	To the Commissioner.  事業種目 黄本金 百万円 National Tax Agency Type of business  和税条約の規定に基づき、権限ある当局間の相互協議を申し立てます。						
国形庁長官 駅 To the Commissioner National Tax Agency	Name of the person in charge 電話 Tel ( ) — (内線 ex. )	I request a mutual agreement procedure between competent authorities pursuant to the provisions of the relevant tax treaty.    本有互協議中立ての理由						
	の規定に基づき、権限ある当局間の相互協議を申し立てます。	相互協議の相手国等 Treaty partner jurisdiction relevant to the MAP request						
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	mocedure between competent authorities pursuant to the provisions of the relevant tax treaty.  「仲間課税 Taxation in Japan □ 相手国等課税 Taxation in treaty partner jurisdiction  李広郎格課税 Transfer pricing taxation  「久的施設に関する課税 Taxation related topermanent establishment  ②他の課税 Taxation other thatransfer pricing taxation and taxation related to permanent establishment  □ 中の場合である。  「他の情報 Taxation 年(Year) 月 (Month) 日 (Day)  ● Other	名称 Name  本店所在地等 Address of the head office of foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.  Foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.  中立ての対象となる取引等を有する申立者との関係 Relation to the applicant engaged in transactions that are the subject of the MAP request establishment, etc.						
相互協議の相手国等 Treaty partner jurisdic 名称 Name	tion relevant to the MAP request	相手国等での相互協議申立ての有無 Have you also submitted a MAP request to treaty partner jurisdiction?  「有 Yes. (申立日 Date of the MAP request 年 月 日)  無 No.						
国外知至在专	the head office of foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.	# 申立ての対象となる所得金額等 Amount of taxable income and tax that are the subject of the MAP request    円貨による表示 (我が国課税及び相手国等課税の場合)   相手国等通貨による表示 (相手国等運税の場合)     本業年度 (年分)   In Japanese year (Taxabion in Japanese in treaty partner)   In currency of treaty partner (Taxabion in treaty partner)						
permanent establishment, etc.	等を有する申立者との関係 gaged in transactions that are the subject of the MAP request	Taxable year						
	空での有無 Have you also submitted a MAP request to treaty partner jurisdiction?  Date of the MAP request : 年 (Year) 月 (Month) 日 (Day)	· 含計 Total amount						

						(次葉) (Page 2		(次葉) (Page 2
	申立て	の対象となる所得金額	等 Amoun	t of taxable income and ta	x that are the subject of the MAI	P request	和税特别措置法	去第66条の4の2第1項《国外関連者との取引に係る課税の特例に係る納税の猶予》等に規定する納税の
		円貨による表示(我	が国課税及び	び相手国等課税の場合)	相手国等通貨による表示	: (相手国等課税の場合)	猶予の希望の有	
事業年度(	年分)	In Japanese yen (Ta	xation in Jap	pan or in treaty partner)	In currency of treaty partner	r (Taxation in treaty partner)	I request for grad	nce of tax payment prescribed in paragraph 1 of Article 664-2 [Grace of Tax Payment under Special Provisions for
Taxable y	year	所得金額		税額	所得金額	税額		ctions with Foreign Affiliated Persons ] of the Act on Special Measures Concerning Taxation, etc.
		Amount of taxable in	come	Amount of tax	Amount of taxable income	Amount of tax		条の2第1項《租税条約に基づく申立てが行われた場合における法人の道府県民税の徴収猶予》等に規定
年 月	日~	百万円 M	illion yen	百万円 Million yen	通貨単位 Unit	通貨単位 Unit	する徴収猶予の	Life its
年 月	日							re a Mutual Agreement Procedure Has Been Requested Pursuant to the Provisions of an Applicable Tax Treaty] of the
合 討 Total am							申立ての対象と	となる事実の概要及び申立ての理由等 Summany of the facts that are the subject of the MAP request and reason for the request
租税特別措置法	第 66 条の・	1の2第1項《国外関	連者との耶	双引に係る課税の特例に	係る納税の猶予》等に規定で	する納税の		
猶予の希望の有						□有 Yes		
					Payment under Special Provision	s for □無 No	添付書類 Attack	hments
				n Special Measures Concernin	ig Taxation, etc. :人の道府県民税の徴収猶予》	第17相党		
地の代法第333		マ ミュー・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	T-12 CN4.	コットロー物口においる江	いいと思い示いがいりは私僧で』	等I~祝Æ		
		prescribed in paragraph 1 o	of Article 55	5-2 [ Grace of Tax Collect	ion for Prefectural Inhabitants Tax			
Corporations Where	a Mutual A				ons of an Applicable Tax Treaty]			(複数ある場合の追加記入欄)
Local Tax Act, etc							(Additional inform	nation form to be used for multiple foreign affiliated corporations, etc.)
++-0+12:	4. 7 16	MET - **	L Arte			1		名称 Name
甲立ての対象と	なる事実の	概要及び甲立ての埋	日等 Summa	ry of the facts that are t	he subject of the MAP request a	and reason for the request	国外関連者等	本店所在地等 Address of the head office of foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.
							四月末建七寸	申立ての対象となる取引等を有する申立者との関係
							Foreign affiliated	Relation to the applicant engaged in transactions that are the subject of the MAP request
添付書類 Attach	ment						person/permanent	
							establishment, etc.	相手国等での相互協議申立ての有無 Have you also submitted a MAP request to treaty partner jurisdiction?
								□ 有 Yes. (申立日 Date of the MAP request 年 月 日)
								= No.
国外関連者等が			itional infor	mation form to be used fo	r multiple foreign affiliated corp	orations, etc.)		名称 Name
	名称 Nam	9						
1	+1:5:5:	h <b>'</b>		-001i-t1ti /				本店所在地等 Address of the head office of foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.
国外関連者等	平泊7月11月	B# Address of the head of	ice or roreign	affiliated corporation / perma	ment establishment, etc.		国外関連者等	
国7N知建行守	申立ての対	象となる取引等を有する	5申立者との	)関係				申立ての対象となる取引等を有する申立者との関係
Foreign affiliated				are the subject of the MAP re-	quest		Foreign affiliated	Relation to the applicant engaged in transactions that are the subject of the MAP request
person / permanen	t						<u>person / permanent</u> establishment, etc.	
establishment, etc.	相手国等	の相互協議申立ての有額	# Have yo	ualso submitted a MAP re	quest to treaty partner jurisdiction	on?		相手国等での相互協議申立ての有無 Have you also submitted a MAP request to treaty partner jurisdiction?
I		'es. (申立日 Date of			(Year) 月 (Month)	日 (Day) )		□ 有 Yes. (申立日 Date of the MAP request 年 月 日)
	口無1	lo.		•	<u> </u>			<u>□</u> <u>無</u> <u>No.</u>
(注) 各欄に記載	できない場	合には、適宜の用紙	こ記載して	添付してください。				
*You may use a	any other fo	orm and attach it to the	is Applicat	tion form, if there is no	t enough room in any of the	columns.	〇税理士等に関	
							Details of the	
〇税理士等に関							□ 税理士	氏名(名称) 代理権限等の届出をした税務署名
Detailsof thea	gent		- 1		/ is.⊤m∔ésni	R等の届出をした税務署名	Certified	public tax Name Name Name Public tax Name Name Name registered
□ 税理士		氏名(名				成寺の油田をした税務者名 f the tax office where the tax	accountant	registeet
Certified pub	olic tax acc	ountant Nam	e			registered	C SASSAGETE I	
□ 納税管理力	ı	住所(居所	・所在			<u> </u>	□ 納税管理人 Tax agent	人 住所 (居所・所在地) Address
Tax agent		(地)					1ax agent	Addless
rax agent	,	Addre	ss	電話Tel()	-		, t	プログログライ
		<b>身</b>	口済	確認書類		_		番 身 □ 済 確認書類
		野 身 元確認	口未		- ド/通知カード・運転免許	ill:		元   元   一   元   一   一   一   一   一   一
※相互協議室処理	DRI .			済 その他(		)	※相互協議室処理	
I	- 1	整理番号						整理番号
		黄 考						備 考
※ For offici	al use only						※ For offici	ial use only

## 改正後 改正前 相互協議申立書の記載要領等 相互協議申立書の記載要領等 1 (省略) 1 (同左) 2 (省略) 2 (同左) 3 各欄の記載は次によります。各欄に記載できない場合には、適宜の用紙に記載して相 3 各欄の記載は次によります。各欄に記載できない場合には、適宜の用紙に記載して相 互協議申立書に添付してください。

- (2) (省略)
- (3) (省略)
- (4) (省略)
- (5) (省略)
- (6) 「相互協議申立ての理由」欄は、該当する項目にレ印を記載してください。なお、 「恒久的施設に関する課税」には、恒久的施設の有無についての課税や恒久的施設に 帰属する所得に対する課税(内部取引に対する課税)が該当します。「その他の課税」 には、例えば、源泉徴収に関するもの(恒久的施設に対する源泉徴収に関するものを 含みます。)等、「移転価格課税」や「恒久的施設に関する課税」に該当しない課税が 該当します。

(1) 申立者が内国法人又は居住者である場合には、「法人名又は氏名」欄に日本語によ

る表記を、「法人名又は氏名の英語表記」欄に英語による表記を記載してください。

- (7) 「国外関連者等」欄には、この申立てが移転価格課税等又は事前確認に係るもので ある場合に記載します。申立者が内国法人又は居住者である場合には、相手国等に所 在する国外関連者又は恒久的施設について、申立者が外国法人又は非居住者である 場合には、当該外国法人の関連者である内国法人又は我が国に所在する恒久的施設 について英語で記載してください。また、「国外関連者等」が複数ある場合には、次 葉の「国外関連者等が複数ある場合の追加記入欄」を使用してください。
- (8) 「申立ての対象となる所得金額等」欄は、我が国又は相手国等における課税により 増加した所得金額及び税額(その事案が源泉徴収に関するものである場合には、源泉 徴収対象金額及び税額。以下同じです。)を事業年度(年分)ごとに区分して記載し てください。

なお、源泉徴収された税額については金額の頭部に「(源)」と表示してくださ V \

(注) この申立てが相手国等における課税に係るものである場合には、その課税に より増加する所得金額及び税額を事業年度終了の日(個人にあっては、その年 の12月31日)における外国為替銀行の対顧客直物電信売相場と対顧客直物電

- 互協議申立書に添付してください。
- (1) 「法人名又は氏名」欄には、申立者が内国法人又は居住者である場合には、日本語 による表記のほか、英語による表記を記載してください。
- (2) (同左)
- (3) (同左)
- (4) (同左)
- (5) (同左)
- (新 設)

- (6) 「国外関連者等」欄には、この申立てが移転価格課税等又は事前確認に係るもので ある場合に記載します。申立者が内国法人又は居住者である場合には、相手国等に所 在する国外関連者又は恒久的施設について、申立者が外国法人又は非居住者である 場合には、当該外国法人の関連者である内国法人又は我が国に所在する恒久的施設 について記載してください。「国外関連者等」が複数ある場合には、次葉に記載して ください。
- (7) 「申立ての対象となる所得金額等」欄は、我が国又は相手国等における課税により 増加した所得金額及び税額(その事案が源泉徴収に関するものである場合には、源泉 徴収対象金額及び税額。以下同じです。)を事業年度(年分)ごとに区分して記載し てください。

なお、源泉所得税額については金額の頭部に「(源)」と表示してください。

(注) この申立てが相手国等における課税に係るものである場合には、その課税に より増加する所得金額及び税額を事業年度終了の日(個人にあっては、その年 の12月31日)における外国為替銀行の対顧客直物電信売相場と対顧客直物電

## 改正後

信買相場の仲値により円換算し、その円換算額を相手国等通貨による金額と併せて記載してください。

(9) 相互協議の申立てが、我が国における移転価格課税等に起因している場合、当該移 転価格課税等により納付すべき国税の額(当該相互協議の申立てに係る相手国等の 権限ある当局との間の相互協議の対象となるものに限ります。)及び当該国税の額に 係る加算税の額に関する納税の猶予申請についての希望の有無を記載してください (納税の猶予申請を行うに当たっては、別途、「納税の猶予申請書」等を提出する必 要があります。)。

また、地方税法第55条の2第1項《租税条約に基づく申立てが行われた場合における法人の道府県民税の徴収猶予》等に規定する徴収猶予の申請についての希望の有無も記載してください(一つの税目でも徴収猶予の申請を希望する場合には「有」にレ印を記載してください。当該徴収猶予の申請を行うに当たっては、別途、申請書等を都道府県・市区町村に提出する必要があります。)。

- (10) 「申立ての対象となる事実の概要及び申立ての理由等」欄には、この申立ての対象となる事実、申立ての理由を記載してください。
- (11) この申立書を代理人によって提出する場合には、「税理士等に関する事項」欄の該当する項目にレ印を記載し、代理人の氏名(名称)、住所(所在地)及び代理権限等の届出をした税務署名を記載してください。
  - (注) 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人をいいます。
- 4 (省略)
- 5 (省略)
- 6 (省略)
- 7 その他
- (1) (省略)
- (2) 相互協議は、平成 13 年 6 月 25 日付官協 1 39 ほか 7 課共同「相互協議の手続について」(事務運営指針) により行われています。この事務運営指針は、国税庁のホームページ (https://www.nta.go.jp) で閲覧できます。

## 改正前

信買相場の仲値により円換算し、その円換算額を相手国等通貨による金額と併せて記載してください。

(8) 相互協議の申立てが、我が国における移転価格課税等に起因している場合、当該移転価格課税等により納付すべき国税の額(当該相互協議の申立てに係る相手国等の権限ある当局との間の相互協議の対象となるものに限ります。)及び当該国税の額に係る加算税の額に関する納税の猶予申請についての希望の有無を記載してください(納税の猶予申請を行うに当たっては、別途、「納税の猶予申請書」等を提出する必要があります。)。

また、地方税法第55条の2第1項《租税条約に基づく申立てが行われた場合における法人の道府県民税の徴収猶予》等に規定する徴収猶予の申請についての希望の有無も記載してください(一つの税目でも徴収猶予の申請を希望する場合には「有」にレ印を記載してください。当該徴収猶予の申請を行うに当たっては、別途、申請書等を都道府県・市区町村に提出する必要があります。)。

- (9) 「申立ての対象となる事実の概要及び申立ての理由等」欄には、この申立ての対象となる事実、申立ての理由を、また「国外関連者等が複数ある場合の追加記入欄」には国外関連者等が複数ある場合に記載してください。
- (10) この申立書を代理人によって提出する場合には、「税理士等に関する事項」欄の該当する項目にレ印を記載し、代理人の氏名(名称)、住所(所在地)及び代理権限等の届出をした税務署名を記載してください。
  - (注) 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人をいいます。
- 4 (同左)
- 5 (同左)
- 6 (同左)
- 7 その他
  - 1) (同左
  - (2) 相互協議は、平成 13 年 6 月 25 日付官協 1 39 ほか 7 課共同「相互協議の手続について」(事務運営指針)により行われています。この事務運営指針は、国税庁相互協議室で入手でき、また、国税庁のホームページ (https://www.nta.go.jp)でも関覧できます。

改正後	改正前
Instructions for Completing the Application Form for the Mutual Agreement Procedure (MAP)	Instructions for Completing the Application Form for the Mutual Agreement Procedure (MAP)
1. (省略)	1. (同左)
2. (省略)	2. (同左)
3. Follow the instructions below for filling in each column. You may use any other form and attach it to the Application form if there is not enough room in any of the columns.  (1) If the applicant is a domestic corporation or resident, fill in "Name of corporation or individual" with the name of applicant in Japanese and in "Name of corporation or individual in English" in English.  (2) Fill in "Corporate number or individual number" with the corporate number or individual number of the applicant (if any). In the case where an individual submits a request for a MAP (MAP request) with regard to an APA, the individual number is not necessary.  (3) (省略)  (4) Fill in "Tax ID number in treaty partner jurisdiction" with the tax identification number in the treaty partner jurisdiction only if the applicant is a foreign corporation or non-resident and has any identification number in the treaty partner jurisdiction.  (5) Fill in "Name of the person in charge" with the name, position and telephone number of the person who is in charge of the MAP request.  (6) In "Reason for the MAP request", check the applicable box. "Taxation related to permanent establishment and taxation to the income attributed to permanent establishment (taxation to the income attributed to permanent establishment (taxation to the internal transaction). "Taxation other than transfer pricing taxation and taxation related to permanent establishment" is taxation other than "Transfer pricing taxation" and "Taxation related to permanent establishment" is taxation other than "Transfer pricing taxation" and "Taxation related to permanent establishment" is taxation other than "Transfer pricing taxation" and "Taxation related to permanent establishment" is taxation other than "Transfer pricing taxation" and "Taxation related to permanent establishment).	3. Follow the instructions below for filling in each column. You may use any other form and attach it to the Application form if there is not enough room in any of the columns.  (1) In "Name of corporation or individual", if the applicant is a domestic corporation or resident, enter the name, written in Japanese and English, of the applicant.  (2) In "Corporate number or individual number", enter the corporate number or individual number of the applicant (if any). In the case where an individual submits a request for a MAP (MAP request) with regard to an APA, the individual number is not necessary.  (3) (同左)  (4) In "Tax ID number in treaty partner jurisdiction", enter tax identification number in the treaty partner jurisdiction only if the applicant is a foreign corporation or non-resident and has any identification number in the treaty partner jurisdiction.  (5) In "Name of the person in charge", enter the name, position and telephone number of the person who is in charge of the MAP request.  (新 設)
(7) In "Foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.",	(6) In "Foreign affiliated corporation / permanent establishment, etc.",

provide the following information in English, if the MAP request is regarding transfer pricing taxation, taxation on income attributable to a permanent establishment or APA: in the case where the applicant is a domestic corporation or resident, information of the foreign affiliated corporation or permanent establishment which is situated in the treaty partner jurisdiction; in the case where the applicant is a foreign corporation or non-resident, information of the affiliated corporation or permanent establishment of the applicant which is situated in Japan.

In the case where there is more than one foreign affiliated corporation or permanent establishment, provide the information <u>in "Additional information form to be used for multiple foreign affiliated corporations, etc."</u> in the next page.

(8) <u>Fill in</u> "Amount of taxable income and tax that are the subject of the MAP request" <u>with</u> the amount of income and tax of each taxable year which was increased as a result of taxation in Japan or the treaty partner (In the case of a tax withheld, <u>fill in</u> the amount which was the subject of the withholding tax and the amount of the tax withheld. The same applies hereinafter.). With regard to a tax withheld, indicate "(withholding tax)" before the amount entered.

Note: Where the request is regarding taxation in a treaty partner, <u>fill</u>
<u>in</u> the amount of income and tax increased as a result of taxation in the currency of the treaty partner and in Japanese yen calculated by the middle rate of TTB and TTS on the end day of its taxable year (In the case of an individual, the end day is to be December 31 of that year.).

(9) If the MAP request is regarding transfer pricing taxation in Japan, check the applicable box to indicate whether the applicant will request grace of tax payment regarding the amount of national tax payable based on the transfer pricing taxation, etc., (as far as such amount is the subject of the MAP between Japan and the treaty partner) and additional tax based on the national tax. In the case where the applicant requests grace of tax payment, "the Application for the Grace of Tax Payment" is to be submitted.

Check the applicable box to indicate whether the applicant requests

provide the following information, if the MAP request is regarding transfer pricing taxation, taxation on income attributable to a permanent establishment or APA: in the case where the applicant is a domestic corporation or resident, information of the foreign affiliated corporation or permanent establishment which is situated in the treaty partner jurisdiction; in the case where the applicant is a foreign corporation or non-resident, information of the affiliated corporation or permanent establishment of the applicant which is situated in Japan.

改正前

In the case where there is more than one foreign affiliated corporation or permanent establishment, provide the information <u>on</u> next page.

(7) <u>In</u> "Amount of taxable income and tax that are the subject of the MAP request", <u>enter</u> the amount of income and tax of each taxable year which was increased as a result of taxation in Japan or the treaty partner (In the case of a tax withheld, <u>enter</u> the amount which was the subject of the withholding tax and the amount of the tax withheld. The same applies hereinafter.). With regard to a tax withheld, indicate "(withholding tax)" before the amount entered.

Note: Where the request is regarding taxation in a treaty partner, enter the amount of income and tax increased as a result of taxation in the currency of the treaty partner and in Japanese yen calculated by the middle rate of TTB and TTS on the end day of its taxable year (In the case of an individual, the end day is to be December 31 of that year.).

(8) If the MAP request is regarding transfer pricing taxation in Japan, check the applicable box to indicate whether the applicant will request grace of tax payment regarding the amount of national tax payable based on the transfer pricing taxation, etc., (as far as such amount is the subject of the MAP between Japan and the treaty partner) and additional tax based on the national tax. In the case where the applicant requests grace of tax payment, "the Application for the Grace of Tax Payment" is to be submitted.

Check the applicable box to indicate whether the applicant requests

grace of tax collection provided for in Article 55-2 [Grace of Tax Collection for Prefectural Inhabitants Tax on Corporations Where a Mutual Agreement Procedure Has Been Requested Pursuant to the Provisions of an Applicable Tax Treaty] or not.

Check "yes", if the applicant requests such grace for even just one tax item. In the case where the applicant requests grace of tax collection, the application for such grace is to be submitted to prefectures and municipalities.

- (10) In "Summary of the facts that are the subject of the MAP request and reason for the request", describe the facts to be the subject of the MAP request and the reason for this request.
- (11) Where the applicant appoints a certified public tax accountant or a tax agent, check the applicable box, either "Certified public tax accountant" or "Tax agent" and <u>fill in</u> such person's name, address and name of the tax office where the tax agent is registered.

Note: "Tax agent" means a person who is appointed by the taxpayer and registered with the District Director of the Tax Office in the place where the taxpayer is to pay tax, under the provisions of the Act on General Rules for National Taxes, and who is empowered to undertake any necessary procedures on behalf of the taxpayer concerning Japanese national taxes, such as filing a return, application, claim, payment of tax, etc.

- 4. Attach the following materials to the Application: the MAP Office may request additional documents not listed below, if they are considered to be necessary for the process of MAP.
  - (1) If the MAP request is regarding taxation in Japan or in a treaty partner: a copy of the letter of the assessment or other document that proves such taxation, a written description of the facts and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation

grace of tax collection provided for in Article 55-2 [Grace of Tax Collection for Prefectural Inhabitants Tax on Corporations Where a Mutual Agreement Procedure Has Been Requested Pursuant to the Provisions of an Applicable Tax Treaty] or not.

Check "yes", if the applicant requests such grace for even just one tax item. In the case where the applicant requests grace of tax collection, the application for such grace is to be submitted to prefectures and municipalities.

(9) In "Summary of the facts that are the subject of the MAP request and reason for the request", describe the facts to be the subject of the MAP request and the reason for this request.

"Additional information form to be used for multiple consolidated subsidiaries / foreign affiliated corporations, etc." may be used in the case where there is more than one consolidated subsidiary or foreign affiliated corporation.

(10) Where the applicant appoints a certified public tax accountant or a tax agent, check the applicable box, either "Certified public tax accountant" or "Tax agent" and <u>enter</u> such person's name, address and name of the tax office where the tax agent is registered.

Note: "Tax agent" means a person who is appointed by the taxpayer and registered with the District Director of the Tax Office in the place where the taxpayer is to pay tax, under the provisions of the Act on General Rules for National Taxes, and who is empowered to undertake any necessary procedures on behalf of the taxpayer concerning Japanese national taxes, such as filing a return, application, claim, payment of tax, etc.

- 4. Attach the following materials to the Application: the MAP Office may request additional documents not listed below, if they are considered to be necessary for the process of MAP.
  - (1) If the MAP request is regarding taxation in Japan or in a treaty partner: a copy of the letter of the assessment or other document that proves such taxation, a written description of the facts and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation

改正後	改正前					
regarding the taxation (Where the taxation has not <u>yet</u> occurred, a detailed description how the action of either jurisdictions will result in taxation and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation regarding such taxation.)  (2) (省略) (3) (省略) (4) (省略) (5) (省略) (6) (省略)	regarding the taxation (Where the taxation has not occurred, a detailed description how the action of either jurisdictions will result in taxation and an outline of the position of the applicant or its foreign affiliated corporation regarding such taxation.)  (2) (同左) (3) (同左) (4) (同左) (5) (同左) (6) (同左)  5. (同左)					
<ol> <li>Others         <ul> <li>(1) A pre-filing consultation is available before a MAP request.</li></ul></li></ol>	<ol> <li>Others         <ol> <li>A pre-filing consultation is available before a MAP request.</li></ol></li></ol>					

		改正前									
別紙様式 4	相互協議申立で		別紙様式4 相互協議申立ての取下書								
		※ 生	2理番号							※ 整理番号	
	(フリガナ) 法人名又は氏名							(フリガナ) 法人名又は氏名			
	納 税 地	〒 −						納 税 地	〒 −		
年 月 日	(フリガナ) 法人の代表者氏名	(役職名)				年 月 日	ı	(フリガナ) 法人の代表者氏名	(役職名)		
国税庁長官	(フリガナ) 責任者氏名	(役職名)				国税庁長官	(フリガナ) 責任者氏名 国税庁長官 殿				
	事業種目	電話()	- (P	内線 ) 百万円				事業種目	電話(	) -	(内線 ) 百万円
(全部取下げ又は一部取下げの理由)						(全部取下げ又は一音	『取下げの理由)				
(注) 各欄に記載できない場合には、適宜・	0月紙に記載して添付して・	ください。				(注) 各欄に記載できない	場合には、適宜の	用紙に記載して添付して。	ください。		
<ul><li>○税理士等に関する事項</li><li>氏名(名称</li></ul>	)		代理権限等の届	出をした税務署名		○税理士等に関する事項	氏名 (名称)			代·祖権和	等の届出をした税務署名
□ 税理士		_				□ 税理士 □ 納税管理人	住所(居所・所在	<ul><li>(地)</li><li>電話Tel ( )</li></ul>		1 公正(田)以	., ./mmc o/com/re/4
※相互協議室処理欄 整理番号		備考				※相互協議室処理欄	整理番号		備	考	
									•	•	

改正後	改正前					
相互協議申立ての取下書の記載要領等	相互協議申立ての取下書の記載要領等					
1 (省略)	1 (同左)					
2 (省略)	2 (同左)					
3 (省略)	3 (同左)					
4 その他 相互協議は、平成13年6月25日付官協1-39ほか7課共同「相互協議の手続について」(事務運営指針)により行われています。この事務運営指針は、国税庁のホームページ(https://www.nta.go.jp)で閲覧できます。	4 その他 相互協議は、平成13年6月25日付官協1-39ほか7課共同「相互協議の手続について」(事務運営指針)により行われています。この事務運営指針は、 <u>国税庁相互協議室で入手でき、また、</u> 国税庁のホームページ (https://www.nta.go.jp)でも関覧できます。					